

【参考文献】

- (1) 秋山和雄「意思決定力を育成する未来志向の社会科授業構成―「提案する社会科」の場面設定の分析を中心に―」, 『社会認識教育学研究』, 鳴門社会科教育学会, 1997
- (2) 我妻みち子『社会科における意思決定能力育成に関する一考察:ハーバード社会科プロジェクトを手がかりとして』, 『社会認識教育学研究』, 鳴門社会科教育学会, 1992
- (3) 稲井智義『「提案する社会科」論を基調とした授業実践の考察―主張の磨き合いの場面に焦点をあてて―』, 『社会認識教育学研究』, 鳴門社会科教育学会, 1996
- (4) 伊坪徳宏, 「ISO14046 ウォーターフットプリントの動向 (特集 ISO 環境マネジメント関連規格の最新動向)」, 産業環境管理協会, 2010
- (5) 伊東亮三「ポストモダンの社会科の模索を」, 『社会科研究』, 明治図書出版, 2001
- (6) 伊藤裕康『モラルジレンマ授業と「提案する社会科」』, 広島文教女子大学紀要, 広島文教女子大学 [ほか], 1995
- (7) 岩村綾子・大橋憲司・伊坪徳宏「シャンプーのウォーターフットプリント」, 第7回日本LCA学会研究発表会講演要旨集, 日本LCA学会, 2012
- (8) 岩田一彦『小学校社会科の授業設計』, 東京書籍, 1991
- (9) 岩渕満『法的意思決定力を育成する中学校社会科公民的分野の授業開発:単元「表現の自由とプライバシーを巡る問題」の場合(教科教育と思考力)』, 教育学研究紀要, 中国四国教育学会, 2012
- (10) 市井和生「つかむ調べるまとめる活かす=問題解決学習の基本型(特集問題解決思考が育つ"学習問題の構造化")」, 『社会科教育』 明治図書出版, 2015
- (11) 石川芳恵「小学校における消費者教育の実践研究―意思決定能力育成のための3年生社会科の授業実践の検討」, 教育実践総合センター紀要, 大分大学教育福祉科学部附属教育実践総合センター, 2009

- (12) 池野範男「批判の社会学」,『社会科研究』,全国社会科教育学会,1999
- (13) 猪瀬武則・平川公明「経済概念を形成する小学校社会科の授業形成:「どんぐりマーケット」の場合」,弘前大学教育学部研究紀要,2006
- (14) 岡明秀忠「教科書を活用した社会科授業づくり」,『社会科教育のフロンティア』,保育出版社,2010
- (15) 恩田彰『創造性開発の研究』,恒星社厚生閣,1980
- (16) 奥田良治ほか「ファジィ理論を応用した評価システム II:ファジィ推論による教育
評
価法と支援システム」,『電子情報通信学会技術研究報告 ET,教育工学』,一般社団法人電子
情報通信学会,1997
- (17) 岡田了祐「意思決定型社会科における子どもの飛躍とつまずき:構築型評価モデルに
よる子どもの社会認識形成過程の分析」,社会科研究,全国社会科教育学会,2014
- (18) 沖大幹「ウォーターフットプリント推計手法の国際標準化に向けた開発」,旭硝子
財団助成研究成果報告,旭硝子財団,2012
- (19) 沖大幹「日本の食が犠牲にしているものーバーチャルウォーターについて(フー
ドセキュリティーー世界の食料安全保障政策はいま)ー(日本のフードセキュリティーをどう
考えるか)」,農業と経済,昭和堂,2007
- (20) 沖大幹・近藤剛「ウォーターフットプリントの現状と課題」,日本 LCA 学会誌,日
本 LCA 学会事務局,2010
- (21) 小田切祐詞,「批判社会学とその規範性の問題:構築主義以後の社会学における規範
性への関心の高まりを考えるために」,『慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要:社会学・心
理学・教育学:人間と社会の探究』慶應義塾大学大学院,2013
- (22) 小野雄也・堀口健・伊坪徳宏「水の消費と汚染に着目したウォーターフットプリン
ト用データベースの開発」,第7回日本 L C A 学会研究発表会講演要旨集,日本 LCA 学会,
2012

- (23) 太田昌宏「提案する社会科」とディベートをつなぐ授業方法論の提案, 学藝社会, 東京学芸大学, 2002
- (24) 大江卓也「稲作を対象としたウォーターフットプリント」, 日本 LCA 学会研究発表会講演要旨集, 産業環境管理協会, 2010
- (25) 大野篤一郎・丸山高司編『ディルタイ全集第 3 巻論理学・心理学論集』, 法政大学出版局, 2012
- (26) 上條晴夫「反対尋問の方法」, 『授業づくりネットワーク』, 学事出版, 1994
- (27) 上條晴夫『ディベートに強くなる本』, 学事出版, 1995
- (28) 加藤賢一・倉本哲男「社会科教育における人間形成論に関する一考察:「社会科の初志を貫く会」の理論的見解を中心に」, 『佐賀大学文化教育学部研究論文集』, 佐賀大学, 2011
- (29) 河田知憲『実践的意思決定力の育成を目指す社会科環境学習の単元開発:「意思決定」型社会科の継承と革新』, 社会認識教育学研究, 鳴門教育大学, 2009
- (30) 金沢知範・下川沙保理・乃田啓吾・沖一雄・沖大幹「潜在価格を考慮したウォーターフットプリント推計手法の開発」, 水文・水資源学会研究発表要旨集東京大学生産技術研究所, 2012
- (31) 金澤駿・高木啓「経済学概念に基づいた意思決定の合理化を図る中学校社会科授業」, 関東学園大学紀要, 関東学園大学, 2013
- (32) 甲斐進一, 「進歩主義教育評価の動向」, 『椛山女学園大学研究論集社会科学篇』, 椛山女学園大学, 2005
- (33) 川上敬吾ほか『中学校社会科における「社会的思考・判断」評価のためのルーブリックの開発』:公民的分野における生徒のパフォーマンスを引き出す評価基準の開発とその利用』, 『日本教育工学会研究報告集』, 日本教育工学会, 2004
- (34) 唐木清志『子どもの社会参加と社会科教育—日本型サービス・ラーニングの構想』, 東洋館出版社, 2002

- (35) 片上宗二『調停としての社会科授業構成の理論と方法:意思決定学習の革新), 社会科研究, 全国社会科教育学会, 2006
- (36) 「外国人労働者問題とこれからの日本」編集委員会編『〈研修生〉という名の奴隷労働—外国人労働者問題とこれからの日本—』, 花伝社, 2009
- (37) 菊池八穂子『集团的意思決定を視点とした小学校社会科政策批判学習:第 5 学年小単元「これからの日本の食料生産」を事例として』, 社会系教科教育学研究社会系教科教育学会, 2013
- (38) 金栄淇「外国人労働者受け入れの国際比較研究:受け入れ政策及び法制を中心に」, 千葉大学, 2000
- (39) 木下英文, 「断り談話における代案提示の機能について」, 愛媛大学法文学部論集人文科学編, 愛媛大学法文学部, 2006
- (40) 久保田貢『小西正雄「提案する社会科」についての批判的研究』, 愛知県立大学文学部論集児童教育学科編, 愛知県立大学文学部, 2001
- (41) 桑原敏典・佐藤育美『公共性を問い直させる公民授業の構想—中学校社会科小単元「公共の福祉とは何か」の開発—』, 岡山大学教育学部研究集録, 岡山大学教育学部, 2007
- (42) 桑原敏典・横川和成・井上昌善『政策選択学習の原理に基づく領土問題の単元開発:中学校社会科小単元「領土問題から日本の外交を考える」の開発を通して』, 研究集録岡山大学大学院教育学研究科, 2015
- (43) 桑原靖夫・香川孝三著・坂本恵編『外国人労働者と地域社会の未来』, 福島大学ブックレット『21 世紀の市民講座』NO 1, 公人の友社, 2008
- (44) 草原和博「多文化的性格の地域を教師はどのように教えるか:社会科教師の意思決定の特質とその要件 (特集これからの社会科教育のあり方を問う:多文化教育の実践的可能性)」, 社会科教育研究, 日本社会科教育学会, 2012
- (45) 小西正雄『提案する社会科』, 明治図書出版, 1994

- (46) 児玉康弘「社会科と社会科学」,『社会科教育学ハンドブック』, 社会認識教育学会, 2012
- (47) 児玉修「社会科と民主主義」,『社会科教育学ハンドブック』, 社会認識教育学会, 2012
- (48) 小原友行「社会的な見方・考え方を育成する社会科授業論の革新」,『社会系教科教育学研究』, 社会系教科教育学会, 1998
- (49) 小原友行,『「思考力・判断力・表現力」をつける社会科授業デザイナー—小学校編—』, 明治図書, 2009
- (50) 小林一博・村瀬清史・眞島良太『多面的に分析し,主体的に判断する社会科授業の開発—「価値認識」を踏まえ「意思決定」を促す社会科授業—』, 北海道教育大学紀要, 教育科学編, 北海道教育大学, 2013
- (51) 小林隆「問題解決的な学習に基づく小学校社会科の授業構築—学習問題の構造に視点をあてて—」, 佛教大学教育学部論集, 2011
- (52) 小林敬一「「教育評価」に対する小学校教師のイメージ」,『静岡大学教育学部研究報告人文・社会科学篇』, 静岡大学, 2002
- (53) 小林敬一「授業の中の教育評価」"『静岡大学教育学部研究報告人文・社会科学篇』静岡大学, 2000
- (54) 佐長健司・池上英利「社会科ディベート授業づくりに関する研究(Ⅱ)—データと結論との関係について検討する能力を育てる指導—」佐賀大学教育学部附属教育実践研究指導センター『紀要』第11号佐賀大学, 1995
- (55) 佐長健司・中村祐二郎「社会科ディベート授業づくりに関する研究(Ⅰ)—データに基づいた発言を引き出す指導—」佐賀大学教育学部附属教育実践研究指導センター『紀要』第11号佐賀大学, 1995
- (56) 佐長健司「社会科でディベートする子どもを育てる」明治図書 1997
- (57) 佐長健司「社会科ディベート授業づくりに関する研究(Ⅲ)—反対尋問指導の方法と実際—」佐賀大学教育学部附属教育実践研究指導センター『紀要』12, 佐賀大学, 1996

- (58) 佐長健司「社会変革へ向かう社会科学習を求めてー正統的周辺参加における拡張による学習の可能性ー」全国社会科教育学会第 65 回全国研究大会全国社会科教育学会
- (59) 佐長健司「社会科授業における討論指導の研究」『社会科研究』全国社会科教育学会 1989pp.82ー91
- (60) 佐長健司「社会科授業における討論指導の研究」『社会科研究』全国社会科教育学会 1989pp.82ー91
- (61) 佐長健司「社会科討論授業における反論の指導」『社会科研究』全国社会科教育学会 1999pp.171ー180
- (62) 佐長健司「社会科討論授業に対応したテスト問題の開発」佐賀大学文化教育学部研究論文集 1 佐賀大学 1995pp.17
- (63) 佐長健司「社会科討論授業のための学習指導案の内容と作成方法」『社会系教科教育学研究』社会系教科教育学会 1999c, pp.11ー18
- (64) 佐長健司「社会形成教育の授業開発ー中等レベル単元『住民投票論争』ー」佐賀大学文化教育学部研究論文集佐賀大学文化教育学部 2001pp.43ー68
- (65)
- (66) 佐長健司「総合的学習と社会科との融合カリキュラムの開発ー社会的問題解決の拡大による単元構成ー」日本社会科教育学会第 50 回全国研究大会課題研究 2000c①
- (67) 佐長健司・秋吉洋志「社会科ディベート授業づくりに関する研究:反対尋問指導の方法と実際」教育実践研究指導センター紀要佐賀大学 1996pp.1ー11
- (68) 佐長健司・池上英利「社会科ディベート授業づくりに関する研究 (II) :データと結論との関係について検討する能力を育てる指導」教育実践研究指導センター紀要佐賀大学 1995pp.21ー31
- (69) 中村祐二郎¹⁾「社会科ディベート授業づくりに関する研究 (I)」
- (70) データに基づいた発言を引き出す指導²⁾教育実践研究指導センター紀要佐賀大学 1995pp.1ー20

- (71) 佐長健司編著「社会科でディベートする子どもを育てる」明治図書 1997
- (72) 坂本信吾「投票行動における意思決定過程を取り入れた社会科授業の開発:選挙学習を通して育成する意思決定力」社会認識教育学研究鳴門教育大学 2008pp.21-30
- (73) 迫真也,小原友行,草原和博「判断基準の可視化によって思考を深める社会科公民的分野の授業開発:ツールミン図と ICT を利用した生徒間交流を重視した学習のイノベーション」中学教育:研究紀要広島大学附属東雲中学校 2015pp.27-33
- (74) 齊木千尋「質的研究と量的研究を取り入れた社会科授業分析枠組み」, パネル型自由研究発表, 全国社会科教育学会 2013
- (75) 柴田好章ほか4名「中学校社会科グループ討論におけるコミュニケーション過程の分析(大学の新しいネットワーク環境)」『日本教育工学会研究報告集』日本教育工学会 1999pp.67-72
- (76) 砂川直也・村上佳世・伊坪徳宏「野菜を対象としたウォーターフットプリントの表示と消費者の選好分析」第7回日本LCA学会研究発表会講演要旨集日本LCA学会 2012pp.376-377
- (77) 鈴木正行「中学校社会科における社会的構想力の育成をめざした単元開発と実践ー基底的価値としての「人間の尊厳」及び「人間の安全保障」に着目してー」『社会科教育研究』日本社会科教育学会 2013pp.35-47
- (78) 關浩和『学力の質的向上をめざす社会科授業の創造』明治図書 2005
- (79) 高浦勝義「デューイと問題解決評価観(教育評価の今日的課題)」『日本デューイ学会紀要』日本デューイ学会 2012pp.265-274
- (80) 高瀬雄大「社会形成者として判断する社会科学習ーシミュレーション活動を位置付けた授業づくり」教育実践研究福岡教育大学教育学部附属教育実践総合センター 2010pp.207-212

- (81) 高内康司「市民的判断力の向上をめざして——寛容を手がかりに」千葉大学人文社会科
学研究千葉大学大学院人文社会科学部研究科 39508pp.138—153
- (82) 高林賢治『法的意思決定力を育成する高等学校公民科の授業構成:小单元「平等権を
考える」の開発』社会科研究全国社会科教育学会 2007pp.21—30
- (83) 高数学,横山監「完全不確実性下の意思決定:P.K.Pattanaik の理論を中心に」東京学
芸大学紀要.人文社会科学系.II 東京学芸大学 2014pp.173—187
- (84) 谷口雅子「問題解決学習論」『福岡教育大学紀要第2分冊社会科編』福岡教育大学
2006pp.109—132
- (85) 谷川彰英,手島勝朗,藤井千春「問題解決学習論争」から何を受け継ぐか(論争から学
ぶ「戦後教育50年」<特集>)『現代教育科学』明治図書出版 1995pp.60—65, pp.75—80
- (86) 谷川彰英著『問題解決学習の理論と方法』1993
- (87) 田上哲「個に視座をおく問題解決学習と人間形成」『考える子ども』社会科の初志を
つらぬく会 2012pp.22—25
- (88) 帯刀悠香「中学校社会科における「意思決定型」授業の有効性に関する実証的研究」
児童教育研究=Childhoodeducationresearchjournal 安田女子大学児童教育学会 2015pp.21
—29
- (89) 帯刀悠香「中学校社会科における「意思決定型」授業の有効性に関する実証的研究」
児童教育研究=Childhoodeducationresearchjournal 安田女子大学児童教育学会 2015pp.21
—29
- (90) 豊寫啓司「日常生活の視点を取り入れた中学校社会科「東アジア形成」授業—单元
「身
近な地域を手がかりに東アジア共同体について考えよう」を通して—(中学校第3学年:地
理・歴史・公民分野融合学習)」『福岡教育大学紀要第二分冊社会科編, 福岡教育大学
2006pp.61—78
- (91) 豊寫啓司・柴田康弘・平田大夢・野田惟仁「パフォーマンス評価による中学校社会
科のペーパーテスト開発,「社会の形成者としての市民的資質」を評価するペーパーテスト

の可能性」, 全国社会科教育学会, パネル型自由研究発表, 2013

(92) 土肥大次郎,小原友行,池野範男『高等学校社会系教科における批判的思考力を育成す
る授業開発の研究(2) 公民科政治・経済小単元「税制改革」の場合』学部・附属学校共同
研究紀要広島大学学部・附属学校共同研究機構 2011pp.41-50

(93) 中村淳彦『崩壊する介護現場』, ベスト新書, 2013

(94) 永田忠道「創造」主義の社会科—歴史研究からの提起—全国社会科教育学会第59回
全国研究大会自由研究資料全国社会科教育学会 2008pp.1-22

(95) 永田成文「社会参加の意識を高める中学校社会科地理における社会的論争問題学習:
国際交流のあり方の意思決定を通して」三重大学国際交流センター紀要三重大学国際交流
センター201589-104

(96) 中河伸俊『社会問題の社会学』世界思想社 1999

(97) 中河伸俊『社会問題の社会学』世界思想社 1999

(98) 中原功博「何のための問題解決学習か:私たちが生きる社会を私たちはどうとらえて
いるのかをめぐって(特集学習問題を考える)」『考える子ども』社会科の初志をつらぬく会
2015pp.29-32

(99) 長瀬勝彦「合理的な意思決定」の非合理性:意思決定支援手法の再考に向けて経営シ
ステム=Managementsystems:a journal of Japan Industrial Management Association 日本経
営工学会 2013pp.15-19

(100) 長田健一『論争問題学習における授業構成原理の「熟議的転
回」:NationalIssuesForumsの分析を通して』社会科研究全国社会科教育学会,
2014pp.81-92

(101) 西村公孝「特別論文教育改革と主権者としての社会形成力の育成」『世界と議会』
2003-2004, pp.17-25

(102) 西村公孝「小中連携による地域カリキュラムの創造—総合的学習で育てる社会

形成

力」, 日本生活科・総合的学習教育学会, pp.100-107

(103) 西岡加名恵"「逆向き設計」論にもとづくカリキュラム編成——中学校社会科における開発事例(特集教育評価のためのツールとシステム)"『教育目標・評価学会紀要』2007pp.17-24

(104) 早川和美, 稲井智義社会的判断力の育成をめざす社会科学習の構想と展開(第2年次):説得力の高い社会的判断を見出す相互検証鳴門教育大学 1997pp.23-32

(105) 樋口大祐「中三・社会科公民的分野生徒が課題を見だし主体的に追究する、話しあいを中心とした社会科の授業づくり:幸せな未来をつかむために、価値判断や意思決定ができる公民の授業(特集第57回全国研究集会提案・実践記録)」兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科社会科の初志をつらぬく会 2014pp.108-125

(106) 疋田晴敬「価値追求型の公民科授業構想—「校則と自己決定権」を事例として—」
"愛知教育大学教科教育センター研究報告愛知教育大学 2007pp.125-137

(107) 疋田晴敬「公民科・地理歴史科における教育と遊び:今日の教育状況を踏まえて」
公民教育研究日本公民教育学会 1997pp.43-50

(108) 疋田晴敬「高等学校公民科と死の準備教育」社会認識教育学研究鳴門教育大学 1997pp.95-104

(109) 疋田晴敬『社会参加を組み入れた公民科授業実践:「模擬少年審判」参加を中心に』
社会認識教育学研究鳴門教育大学 2007pp.31-40

(110) 藤本一美『米国における「ウォール街占拠」運動:"直接民主制"方式による意思決定』
専修大学社会科学研究所月報専修大学社会科学研究所 2012pp.21-41

(111) 松本道弘『やさしいディベート入門』中経出版 1990

(112) 松村謙一「多文化共生時代における小学校社会科教育(上)グローバル教育を手が

かりにして」皇学館論叢皇学館大学人文学会 2008pp.27-44

(113) 松尾正幸・佐長健司(編著)「ディベートによる社会科の授業づくり」明治図書 1995p.120

(114) 班目文雄「社会科—学年末の評価はどうあるべきか—特集・学年末と教育評価」『児童心理』金子書房 1959pp.313-317

(115) 宮坂義彦『検証としての授業分析研究の課題—「発見学習」研究が「教育工学的な手」を用いる必然性の考察(すぐれた授業の法則的事実<特集>)』『現代教育科学』明治図書出版 1976pp.5-23

(116) 宮島喬・鈴木江理子『外国人労働者の受け入れを問う』,「岩波ブックレット NO. 916」, 岩波書店, 2014

(117) 宮本健市郎「学力テストにおける基準の変質:授業と評価の乖離(教育評価の今日的課題)」『日本デューイ学会紀要』日本デューイ学会 2012pp.253-263

(118) 宮本淳・仙石昌也・山森孝彦・久留友紀子・橋本貴宏"「Google ドキュメントを利用したレポート作成過程の分析」『日本教育工学会研究報告集』日本教育工学会 2013pp.1-6

(119) 宮野純光「社会科における課題学習の取り組み」『教育成果発表会発表論文集』"金沢工業高等専門学校 KTC 教育評価委員会"2011pp.33-36

(120) 溝口和宏「開かれた価値観形成を目指す社会教育—『意思決定』主義社会科の継承と革新」『社会科研究』全国社会科教育学会 2002

(121) 溝口和宏「社会科と市民社会」『社会科教育学ハンドブック』社会認識教育学会 2012pp.35-42

(122) 溝口和宏「歴史教育における社会的判断力の育成(1) —法的判断力育成のための歴史教材例—」『社会科研究』全国社会科教育学会 1999pp.211-220

(123) 三浦軍三「教育実践にみられる教育評価の問題—社会科のばあい」『香川大学教育学部研究報告』香川大学教育学部 1978pp.89-118

(124) 三浦軍三"「教育実践にみられる教育評価の問題—社会科のばあい」"香川大学教育

学部研究報告"香川大学教育学部 1978

(125) 三輪冠奈「電子タグ導入における効率と効果:シミュレーションによる意思決定支援

=THENAGOYAGAKUINDAIGAKURONSHU;JournalofNagoyaGakuinUniversity;SOCIALSCIENCES 名古屋学院大学総合研究所 2010pp.119-133

(126) 水山光春「トゥールミンモデルを用いた意志決定過程を組み込んだ環境教育の授業

設計」京都教育大学環境教育研究年報京都教育大学 1996pp.27-40

(127) 水山光春合意形成をめざす中学校社会科授業:トゥールミンモデルの「留保条件」を活用して社会科研究全国社会科教育学会 1997pp.51-60

(128) 峯明秀「社会科における意思決定」『新社会科教育学ハンドブック』明治図書 2012pp.186-194

(129) 森昭二「社会科における創造的思考の実践的研究-4年生「私たちが考える水不足
対策案」の実践を通して-」『社会認識教育学研究』鳴門社会科教育学会 1998pp.45-50

(130) 森才三「社会科授業における「なぜ」発問の実践方略:「問いの対象」と「問いの
観点」に注目して」『社会科研究』全国社会科教育学会 2015/3/31pp. 13-24

(131) 文部科学省『小学校学習指導要領解説-社会編-』東洋館出版社 2008p

(132) 山下政俊「教育評価の今日的課題」『島根大学教育学部紀要教育科学』島根大学 1976pp.1-15

山口陽弘「教育評価におけるルーブリック作成のためのいくつかのヒントの提案
-パフォーマンス評価とポートフォリオ評価に着目して-」『群馬大学教育学部紀要』群馬大学 2013pp.157-168

(133) 山本裕己「コーヒーと紅茶を対象としたカーボンフットプリントとウォーターフ
ットプリント」日本 LCA 学会研究発表会講演要旨集日本 LCA 学会 2005pp.272-273

(134) 矢口新「教育評価の意義と動向」『社会科教育』社会科教育研究社 1950pp.2-5

- (135) 吉川幸男「社会科と国民国家」『社会科教育学ハンドブック』社会認識教育学会
2012pp.26-34
- (136) 吉永潤「社会科において外交意思決定能力をどう育てるか」教育科学論集神戸大
学
発達科学部教育科学論講座 2011pp.19-29
- (137) 吉永潤「社会科における外交意思決定能力育成の意義とその授業構成」社会科研
究
全国社会科教育学会 2011pp.51-60
- (138) 吉永潤「外交事象を扱った社会科意思決定学習の課題と展望」神戸大学大学院人
間
発達環境学研究科研究紀要神戸大学 2012pp.75-83
- (139) 吉水裕也『社会科における問題発見構造とカリキュラム開発』兵庫教育大学 2003
- (140) 吉村功太郎「社会科における価値観形成論の類型化—市民的資質育成原理を求め
て—」社会科研究全国社会科教育学会 1999pp.11-20
- (141) 吉村功太郎「情報ネットワークを利用した議論の試み」岐阜高専紀要岐阜工業高
等
専門学校 2002pp.1-8
- (142) 渡部竜也「社会問題提起力育成をめざした社会科授業の構想—米国急進派教育論
の
批判的検討を通して—」『社会科研究』全国社会科教育学会 2008pp.1-10